

事務事業名		家庭生ごみ分別収集推進事業			会計	一般会計	実施区分			
H28担当課等名		環境課		H28係等名	廃棄物対策係		H27係等名	廃棄物対策係		
基本計画上の位置づけ		政策	5	人の営みと自然・環境が調和したまちづくり						
		施策	56	廃棄物の減量と適正処理						
目的	対象(誰・何を)	・旧市内JR飯田線東側区域の一般市民					対象指標	指標名及び単位		27年度数値
	意図(どういう状態にするか)	・区域内家庭からの生ごみを堆肥化することにより、再利用する。						対象区域内の世帯数 (4月1日現在)	2864	
	向上させたい上位施策の成果指標	ごみの収集量								
目標	種別	指標名及び単位			27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)	
	成果指標	年間の家庭生ごみ分別収集量(t)			153	148	151	-		
	成果指標	参加町内の世帯数			2854	2864	2848	-		
	定性目標									
事業概要	旧市内JR飯田線東側地域内の、家庭から排出される生ごみを分別収集する。 1 家庭から排出されるごみの減量化の推進									
事業内容					名称			活動指標		
27年度事業内容	1 (1) 家庭生ごみ分別収集の実施 ア 家庭生ごみの分別収集運搬委託 イ 分別収集の啓発を図るための、「飯田市堆肥センター」の見学会の実施				1 (1) ア 家庭生ごみ分別収集量 イ 見学会実施回数			1 (1) ア 148t イ 0回		
	事業コスト					26年度決算額	27年度予算額	27年度決算額	28年度予算額	特定財源内訳、補足
事業費計(千円)①		13,509	13,527	13,522	13,527	(そ)ごみ処理手数料				
国庫支出金										
県支出金										
起債										
その他		11,987	11,742	11,767	11,577					
一般財源		1,522	1,785	1,755	1,950					
人件費計(千円)②		2,038		2,146						
正規職員所要時間		570		600						
臨時職員所要時間										
総事業費①+②		15,547	13,527	15,668	13,527					
事業内容・目標達成状況の振り返り	家庭生ごみ分別収集量は、前年度と比較して減少し、「飯田市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画(平成24年度～28年度)」における計画値153tを下回った。									
改革改善の考え方	①問題点	事業の見直し								
	②改革提案	目的やコスト、飯田市堆肥センターの受け入れ体制をはじめ、南信州広域連合が建設する次期ごみ中間処理施設の稼働後のごみ処理体制を見据え、事業の方向性について研究・検討を進める。								